

第14回 通常総会 あいさつ

公益社団法人三次法人会

会長 菅原 暢之

三次法人会 会長の菅原でございます。第14回通常総会を開催するにあたり、ごあいさつ申し上げます。

本日はご多用のところ、当法人会の通常総会に、三次市 市民部長 松本様、三次税務署 署長 田中様、また、ご来賓の関係団体をはじめ、友誼団体である保険会社の皆様にご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。

日頃より当会の活動にご理解とご協力を賜っております会員企業の皆さまに、改めて心より御礼申し上げます。

さて、日本経済は依然として物価高、人手不足、人口減少といった課題に直面し、地方においてはその影響がより大きく現れております。

こうした環境下だからこそ、地域企業が持続的に発展し、地域社会を支える力を高めていくことが求められています。当会はその一助となるよう、「法人会の基本方針」に基づき、公益性を重視した事業運営を進めてまいりました。

税知識普及事業では、最新の税制改正に対応した研修会を開催し、会員企業の実務力向上に努めております。

また、租税教育活動では、親会・青年部会・女性部会が連携し、市内の小中学校での授業に加え、教材づくりにも取り組んでまいりました。その一つが、紙芝居第2作目「三次もののけ～平太郎 参上！～」でございます。

三次に伝わる“もののけ文化”を題材に、子どもたちが楽しみながら税の役割を学べるよう工夫を凝らした作品となっております。

地域の魅力と税教育を融合させたこの紙芝居は、学校現場でも大変好評をいただいております。「三次ならではの租税教育」として、今後さらに広げていきたい取り組みです。

本日は、制作に携わったメンバーが心を込めて演じます。皆さまにもぜひ、楽しみながらご覧いただければ幸いです。

最後になりますが、当法人会は、これまで地域企業の健全な発展と、会員相互の連携強化を目的に、さまざまな事業を展開してまいりましたが、当会の活動を支える柱の一つである福利厚生事業につきましては、協力保険会社3社の皆さまとの連携のもと、会員企業の経営を支える制度の充実に努めております。

今後も、福利厚生制度の魅力をさらに高め、会員の皆さまにとって一層価値ある事業となるよう取り組んでまいります。

また、会員増強は法人会の活力を高める重要な取り組みです。これからの一年も、皆さまのお力添えをいただきながら、より良い法人会づくりに努めてまいります。

それでは、これより議案を上程させていただきます。十分にご審議をいただきました後、ご承認を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

本日もご出席の皆様には、今後とも変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方の事業のさらなるご発展を心より祈念いたしまして、私からのあいさつとさせていただきます。